

【身長】

※ 受診者が測定しやすいように、靴べら・ござを準備しましょう。

- 身長計を正しくセットする。(身長計はしっかりと伸ばし、動かないか確認する。)
- 尺柱にかかと・後頭部をつける。
- 背すじを伸ばし、あごをひいてもらう。
- 頭頂部に横規が当たっていることを確認。
- 身長計のデジタル表示を確認し受診票に転記。
- 横規を上げ、受信者に圧迫感を与えない状態にしてから移動を促す。
- 計測値は読み上げない。
- 前回の数値と大きな差が無いか、受診者本人に今回の数値をよくみてもらう。
- 数字の記入は**正確・ていねいに!**

実際に10cmの誤差が出る・数字の記入がザツ
で読めないなどという例があります!!

- 記録はcm・単位は小数点第1位まで。
- 記録の際、前回との計測値が±1・5cm以上の場合は再測定し、記入欄の左上に「レ」点チェックを入れる。
- 受診者が計測値に不満そうであれば、前回どのくらいであったかを確認し再測定。この場合も「レ」点チェックを入れる。
 - ※ まれにかかとを上げて立っている受診者がいるので注意する。
- 測定値を受診者と2人で確認の後 記入欄左側のチェック欄に「レ」点を入れる。